

第 4 回旧 RD 最終処分場問題連絡協議会の開催結果

■日 時 平成 25 年 11 月 27 日（水）19:00～20:30

■場 所 栗東市コミュニティセンター治田東

■議事および結果

1. 前回の開催結果について

TRD 工法について

- ・八戸工業大学の福士教授によれば鉛直遮水壁の耐用年数は 20 年ぐらいとなっているが、再構築できるのか。また費用はどのくらいか。
→その場で再構築することは難しいが外側には可能と考えています。費用は約一億円です。また、薬注により修復することも可能ではないかと回答しました。
- ・フミン酸の影響は考えられないか。
→枯れ葉などの有機物が分解してできる物質であり、コンクリートを固まりにくくする性質があるが、当現場では問題ないと考えていますと回答しました。

2. 平成 25 年度第 2 回モニタリング結果について

- ・H24-S2(Ks2)でヒ素、1,4-ジオキサンが環境基準を超えていることについて経過を見たいと言っているが、いつまでか。
→1 年間、モニタリング回数にして 4 回は経過を見させていただきたい。そのうえで原因を推定する努力をさせていただきますと回答しました。
- ・H23 に行った採水方法の変更に関する注釈について、土壌や廃棄物には有害物質が含まれていることを、もっと明確に書くべきである。
→表現方法を再考しますと回答しました。
(この表現で充分であるとのことのご意見もありました。)

3. 熔融炉建屋等解体工事について

- ・撤去後の確認はできないのか。
→ご希望があれば、南側焼却炉基礎部分について、撤去後に確認していただく機会を設けますと回答しました。
- ・タイヤに付着した泥等を洗った水はどうするのか。
→場外に出ないように対策を行い、適正に処理しますと回答しました。
- ・粉塵の飛散防止に散水すると思うが、その水はどうなるのか。
→通常の雨と同じように廃棄物層を通った後、浸透水として汲み上げて処理します。量的には問題になる量ではないと考えていますと回答しました。南側焼却炉に設置されているピットにたまった雨水を分析後、問題なければ散水に使用することもお知らせしました。

- ・祭日は作業を行うのか。

→作業させていただきますと回答しました。

※溶融炉建屋等解体工事について自治会単位での説明会をご希望でしたら、
連絡いただくようお願いしました。

4. その他

- ・今後のスケジュールについて

(ご意見、ご質問はありませんでした。)

※次回の開催日程については別途調整させていただくことを、お知らせしました。